

窓

京都新聞 令和2年(2020年)2月12日(水)

実習で生まれた新しい夢

伏見区・小林 琴音(大学生・21)

私は大学入学当初、幼稚園教諭を目指していた。昔から子どもが好きで、子どもと関わることができる仕事に就きたかった。

しかし、免許を取得するために実習を行った際、違う進路を考えるようになった。子どもの使う雑貨や玩具、服に興味を持った。

子どもの発達に合わせた物を作ったり、提供したりする、そのような仕事に就きたい。そして、子どもや家族全員を笑顔にする手助けとなるようなことをしたいと感じたのだ。

大学入学当初の夢とは変わってしまったが、新しい夢に向かって、これから精進したいと考える。

※無断転載不可